

# 平成30年度県政推進指針

平成29年10月16日

大 分 県

# 平成30年度県政推進指針

(はじめに)

県政推進指針は、県政運営の長期的、総合的な指針である「安心・活力・発展プラン2015」の着実な実行を図るため、県民の皆さんからいただいたご意見、行政評価結果、社会経済の動向などを踏まえ、平成30年度の県政推進にあたっての基本的な方向を示すものである。今後、予算編成や組織改正、人事配置等について、この指針に沿って進める。

## (目次)

I 基本方針	1
II 安心・活力・発展の大分県づくりの推進	2
1 安心ー健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県ー	2
(1) 子育て満足度日本一の実現	
(2) 健康寿命日本一の実現	
(3) 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	
(4) おおいたうつくし作戦の推進	
(5) 安全・安心を実感できる暮らしの確立	
(6) 人権を尊重し共に支える社会づくりの推進	
(7) 地域社会の再構築	
(8) 多様な県民活動の推進	
(9) 災害に強い社会づくりと県土の強靱化による防災力の強化	
(10) 移住・定住の促進	
2 活力ーいきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県ー	13
(1) 変化に対応し挑戦と努力が報われる農林水産業の実現	
(2) 多様な仕事を創出する産業の振興と人材の確保	
(3) 男女が共に支える社会づくりの推進	
(4) 人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	
(5) 海外戦略の推進	
(6) 大分県ブランド力の向上	
(7) 活力みなぎる地域づくりの推進	
3 発展ー人を育み基盤を整え発展する大分県ー	24
(1) 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	
(2) 芸術文化による創造県おおいたの推進	
(3) スポーツの振興	
(4) 「まち・ひと・しごと」を支える交通ネットワークの充実等	
4 地方創生	32
(1) 人を大事にし、人を育てる	
(2) 仕事をつくり、仕事を呼ぶ	
(3) 地域を守り、地域を活性化する	
(4) 基盤を整え、発展を支える	
III 行財政改革の着実な推進	36
IV 予算特別枠「創生前進枠」について	37

## I 基本方針

### 1 現状と課題

本県は、7月の九州北部豪雨、9月の台風第18号と相次いで災害に見舞われた。その復旧・復興に向けては、被災市と連携し、現場に応じた具体的な取組をまとめた「復旧・復興推進計画」等に基づき取り組んでいる。

一方、国内景気は6四半期連続のプラス成長となり順調に回復する中、県内も緩やかながら回復基調にあり、この動きを着実に進めていく必要がある。

景気回復とともに当面、人手不足が大きな課題となっており、一つは、働き方改革による魅力ある職場づくりと併せて、二つは、若者、女性、シニア層を中心に県内就労の拡大策を講じることである。

こうして当面の課題に対応しながら、少子高齢化・人口減少の大きな流れの中で、まち・ひと・しごと創生—地方創生を目指して、「安心・活力・発展」の大分県づくりを加速していく必要がある。

### 2 基本方針

平成30年度は、まずは、九州北部豪雨及び台風第18号災害からの復旧・復興を遂げるとともに、南海トラフ巨大地震への備えなど、「防災力」を強化・充実させる。当面の景気回復と人手不足に両にらみで対応しながら、大分県版地方創生の道筋をつけるべく「安心・活力・発展プラン2015」を着実に推進する。地方創生を強力に後押しする国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭や世界温泉地サミットの成功を図り、ラグビーワールドカップ2019の準備を急ぐ。

#### 「安心」

- ・子育て満足度、健康寿命、障がい者雇用率の3つの日本一実現に向けた取組
- ・水害からの復旧・復興と南海トラフ巨大地震に備えるための「防災力」の強化・強靱化
- ・ビッグイベントの開催などに向けた「日本一安全な大分」の実現
- ・移住・定住の促進

#### 「活力」

- ・農林水産業による創出額の増加に向けた構造改革の加速
- ・小規模事業者への支援強化と商工団体による指導体制の強化
- ・人手不足に対応した働き方改革による魅力ある職場づくりと県内就職18,500人確保の取組加速
- ・「OITA4.0」の加速

- ・ビッグイベントを捉えたツーリズムの推進

#### 「発展」

- ・「教育県大分」の創造に向けた「全国に誇れる教育水準」の達成と「芯の通った学校組織」を基盤とした大分県版「チーム学校」の推進
- ・国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の成功、ラグビーワールドカップ2019の開催準備本格化
- ・広域交通ネットワークの整備など九州の東の玄関口としての拠点化推進

#### 「地方創生」

- ・若者の結婚・子育ての希望の実現
- ・人口の社会増減均衡に向けた取組の加速

#### 「行財政改革」

- ・歳入の確保・歳出の見直し、資産マネジメントの強化、組織の見直し・人材の育成活用、多様な主体との連携・協働の推進

## ②多様で厚みのある産業集積の推進

- ・大分コンビナートの国際競争力強化のため、コンビナート企業間の連携の取組の加速や地場企業との連携を促進
- ・自動運転や電気自動車の市場拡大等による自動車産業のサプライチェーンの大きな変化への対応と、電子電装部品等の新分野への参入支援等の強化
- ・半導体関連地場企業の大手半導体メーカーとの取引拡大支援や、IoTや車載半導体など新分野・拡大分野への参入支援
- ・インバウンド、海外展開を視野に入れた食品産業の品質管理の向上と農商工連携の推進等によるマーケットインの魅力ある商品開発の支援
- ・医療、看護、介護・福祉分野における製品開発支援等による医療関連機器産業への参入加速化や、産学官連携の拠点である大分大学医学部臨床医工学センターの機能強化
- ・水素社会の到来に向けた水素関連産業の事業化支援や、スマートコミュニティの形成等を推進

(参考：29年度 IoT関連補助金予算 52,000千円)

## ③大分県版第4次産業革命“OITA4.0”の加速

### <IoT等の革新的技術の活用促進>

- ・IoT・ビッグデータ・AI・ドローン等の活用による、離島や中山間地域での課題解決（姫島ITアイランド構想等）や、シェアリング・エコノミーの取組等、“OITA4.0”のプレゼンスを高める重点プロジェクトの創出と全国への展開
- ・様々な産業分野での活用が期待されるドローンについて、製品開発や人材育成等の支援に加え、モデル地域での実証実験等により西日本一のドローン産業の拠点化を推進  
〔H33年度末までにドローン出荷5,000機(累積)を目標〕
- ・大企業等との連携によるIoT関連製品・サービスを有する県内企業の成長支援
- ・ICTの活用による県民サービスの向上、業務の効率化等を図るため、モバイルワークの導入検証や、オープンデータの活用等を推進

### <IT人材の確保・育成>

- ・進出企業を含めた県内IT関連企業と県外IT人材の交流促進等によるIT人材確保の支援強化
- ・IT関連企業のニーズに応えるIT人材育成の推進
- ・小中高生に最新のプログラミング手法等を経験させることによる次世代のIT人材の裾野拡大

## ④未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進

- ・離島や中山間地域など条件不利地等へのサテライトオフィス等の誘致促進
- ・企業誘致が少ない地域への立地促進のため、将来を見据えた適地確保も含めた戦略的な企業誘致の推進
- ・地域未来投資促進法による地方創生推進交付金を活用した地域の面的活性化の推進

## ⑤働き方改革の推進と産業人材の確保・育成

### <働き方改革の推進>

- ・「おおいた働き方改革共同宣言」を踏まえた働き方改革に向けた取組の県下全域への浸透